

令和6年度次代を担う若者のライフデザイン講座事業 開催報告書

若い世代が結婚・妊娠・出産・子育て、仕事を含めた将来のライフデザインを、希望をもって描き、様々なライフイベントに柔軟に対応できるよう、その前提となる知識や情報を学び、考える機会として、県内の高校生を対象に講座を開催しました。



	開催日	学年	クラス数	参加人数
坂出商業高校	9/19.20	2	5	138
三木高校	9/26.27 10/30	2	4	137
桜井高校	10/3.4.15.17	1	7	271
高松中央高校	10/25	2	1	13
高松高校	10/28.29 11/5.20	1	7	270
合計	14日間		24	829

県内5校、計829人の高校生が参加しました。結婚や出産をする・しない、子どもを持つ・持たないなど、多様で自由に生き方を選択できる時代です。だからこそ、ライフデザインを描くうえで、自分自身の選択に納得感があると感じられるかどうか、また、そうした選択ができるよう様々な知識を得て、自分がどうしたいかを考えていくことが大切ではないでしょうか。結婚・妊娠・出産・子育てに関する正しい知識やライフデザインの重要性を知り、高校生が将来のライフデザインを希望をもって描けるように、各学校の授業形態や時間に応じて講座を実施しました。

香川県助産師会からの妊孕性やプレコンセプションケアについてのお話、また国家資格キャリアコンサルタントによるタイムマシンワークなどを通して、人生設計を考える機会を作りました。

勉強や部活など目の前のことに精一杯になりがちな高校生が、一度立ち止まって、近い将来だけでなく、その先も続く将来の人生設計を考える貴重な時間となったようです。

授業を受けて、気付いたことや感じたことなどの自由記述

- ◆ 今まで未来のイメージがわからず、とても不安でした。しかし、今日の講座で20年後の自分をイメージしてから進路などを決めていくという手法をやってみて、これなら自分でもできそう！と思いました。
- ◆ 子育ては楽しそうだけど大変なイメージがあり、将来絶対に子どもが欲しいという気持ちではありませんでした。でも、授業を受けて子育ては親だけであるものではなく、周りの人も一緒にみんなであるのだと学び、将来子どもを持つことも選択肢のひとつとして考えるようになりました。
- ◆ 結婚や子育てはなんとなく大変そうだからしたくないという自分の意識が変わり、そういう未来の可能性もあると考えることができました。将来は自分の歩んできた道と今と明日がつながって、それが積み重なった先にあるというお話から、漠然と描いていた将来にどうすれば自分がたどり着けるかを考えるきっかけになりました。
- ◆ 友達に未来のことについて質問されるたびに、自分の曖昧な部分が指摘されているようでとても刺激がありました。その曖昧な部分を埋めることで自分の未来が少しずつ具体的になっていったように感じました。
- ◆ タイムマシンワークで未来について話することは予想以上に楽しく、自分の願う未来を実現するために頑張ろうという気持ちになりました。また、友人が考えるライフデザインを聞き「なるほど、そういう考え方や生き方もあるんだ！」と感心しました。

